

平成 2 1 年度 学校評価報告書

学校番号・学校名		99 福岡市立東月隈小学校	学校経営方針・学校教育方針		今年度の重点目標
学校長氏名	ふりがな	ふじもと たけ ひろ	「人間力(知・徳・体)を備える児童」の育成を図ることを目標とし、全教職員紀要通の理解・認識・実践による協働教育(学校作り)の推進。 1 学力向上・研究推進両委員会が連携し、子供の個々の学力状況に適切に対応した授業作りを全教職員で取り組む。 2 一人ひとり全児童の人格的育ちの指導に於いて、全教職員で共通理解・認識と共通実践(目標・具体的方法の共有)に努める。 3 教育目標具現化につながる各校務分掌の方案・実施案の作成と展開を図る評価項目作りと評価による改善の具体化を図る。 4 教職員全体・個々の力量向上を図るために、校内研修を基本に校外研修も積極的に推進し、自己研鑽に努める。 5 学校経営・学年学級経営方針等日常の教育活動についても積極的に情報を発信し、本校養育への尚一層の理解と信頼作りを図る。		(教育課程・学習指導) 児童の実態を踏まえた教育課程の編成する。基礎基本の知識と思考力の定着と粘り強い思考の練り上げ力育成(生徒指導) 不登校やいじめのない学級・学年・学校づくり 基本的生活習慣・自律的規律と秩序の規範認識の醸成を図る。(保護者・地域との連携) 学校関係者、保護者からの評価の実施と学校公開と教育活動展開での連携を図り、信頼作りを努める。 (研修・研究) 教育専門職としての指導力向上を図る研修の充実・テーマ・人権教育研修の取り組み、外部研修への積極的参加(組織・運営) 学校課題解決に向けた分掌取り組みになっているかの点検並びに改善 安全安心と学習環境作りの推進
	漢字	藤本 岳大			
校長本校在籍年数		3 年			
学校関係者評価代表者氏名	ふりがな	やまもと ひろし			
	漢字	山本 弘			
	役職等	東月隈校区自治協議会監事			

評価項目	目標及び指標等		自己評価	自己評価についての説明	学関評価	学校関係者評価についての説明	今後に向けての方針・改善点
	目標	指標 <指標ごとの評価>					
教育課程 学習指導	児童の実態を踏まえた教育課程の編成(文化・栽培体験)	・各学年1学期に1回は、教育課程内で文化・栽培体験を実施	S	<ul style="list-style-type: none"> ・校内には各学年で取り組んだ農作物でいっぱい、収穫・調理を通して豊かな感性を育てることができた。 ・和装礼法の実施や琴クラブを立ち上げ演奏会等に参加できた。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・学校長を始め全教職員が食育の大切さを理解し、児童に対し豊かな感性を育てる教育が実践指導されている。和装礼法の学習や琴クラブの活動を通じ目標である日本の良き伝統文化の継承ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に位置づけられた栽培体験を計画的に実施し、児童の豊かな感性を育てるよう実施していく。 ・地域・保護者の協力を充実させ、文化的な教育活動の更なる充実に努める。
	基礎・基本の知識・思考力の徹底する授業作りによる学力向上を図る	・C R Tの前年度との結果の比較 ・分かる・楽しい授業になっていたか(児童の振り返り)	B B				
生徒指導	不登校・いじめを出さない学校・学級づくり	・個の生かされる学級集団作りの取り組み状況と悩み調査の実施状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生活アンケートやいじめ調査、言葉遣い調査を実施し指導にいかすことができた。 ・1年間大きく学級が荒れることがなかった。学習・生活規範が児童に身に付いてきている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の定着、向上に学校、家庭、地域が一体となりねばり強く取り組んでいる。いじめ等校内での問題発生時には学校長以下全教職員で解決に向け素早く対応されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に新しい職員を含め、生徒指導確認事項をもとに共通理解し徹底して共通実践に取り組む。 ・生活アンケートやいじめ調査等を活用し児童の実態を把握し、指導に生かしていく。
	自立的規律と秩序形成の担い手を育てる	・基本的生活習慣・規範認識の醸成状況	B				
保護者・地域との連携	保護者・地域との連携による学校への信頼づくり	・参観懇談の出席率の状況 ・教育活動への地域・保護者の参加状況	B B	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が若干ではあるが向上し保護者の行事への参加意識が高まっている。 ・評価関係者への案内や、学校の取組状況説明についても、昨年度より、細かく連絡できるようになった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域のコミュニケーションが計られており、各種行事への参加が例年多くなってきている。更なる参加者の増加に努めることが必要と考慮する。 ・懇談会の参加が少ないのが課題。しかし、学校と学校評価関係者との連携はスムーズにいった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級委員と担任が連携して懇談会の年間の内容を検討し充実を図るとともにP T A運営委員会を活用し呼びかけていく。 ・教育活動の内容を学校関係者評価の方に計画的に案内し、学校関係者評価を生かして学校改善に繋いでいく。
	学校改善につながる地域・保護者との評価の連携	・評価関係者への案内と参加状況	A				
研修研究	学力の高まる授業作りの工夫による指導力向上	・指導力向上につながる授業作りとその実施状況 ・校内・校外研修の積極的受講と報告による広げの状況	B A	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ研究で全学級授業研究を実施した。 ・全職員教育センターの研修講座を受講し指導力向上に努めた。 ・人権の視点に立った授業づくりが図られ、児童の人権意識の向上に繋がっている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・低、中、高学年毎にテーマに沿って研究・研修がなされており、課題の改善、工夫に努力されている。教職員が研修講座に積極的に参加され、児童一人一人の可能性や才能の発見に努め、ひいては教育に生かしてある姿勢が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科を中心とした共同研究の充実と市教育センターや県の教育センターの研修を生かして教師と指導力の育成に努める。 ・児童の人権意識向上に繋がる人権教育研修の充実を図り、人権の視点に立った授業づくりに取り組む。
	人格形成につながる人権教育研修と授業への企図	・各教科等での人権教育の視点に立った学習内容・方法が図られている状況	B				
	校務分掌内容が学校課題解決の機能を果たす役割を担い、実践される。	・3つの目指す子供を育てる「支えの課題」を各分掌が解決の手だての取り組みの実施	B				
組織運営			B	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す子供の姿で、学校の自己評価を実施し、その結果から各分掌事に取組を見直し改善に繋ぐことができています。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針に基づき、目指す児童像の自己評価が実施され、その評価結果が検証され、学校教育への工夫改善が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人ひとりの力が学校運営に生かされるように校務分掌を改善する。また、これまでと同じように自己評価を改善繋ぐ取り組みの充実を図っていく。